

令和7年度 障害児者支援センター虹 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環 境 ・ 体 制 整 備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	9	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・十分とは言えないが、工夫をして楽しめるようスペース確保に努めている。 ・ひまわり、こすもすチームと2チームに分かれ、拠点となる部屋を準備しています。それ以外にも生活介護の利用者さんが使っている部屋にも自由に入り出たり、前庭で遊ぶ場所もあります。 ・土曜営業日や長期休暇等、スペースが十分かはどちらともいえないと思う。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか。	8	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日によっては、生活介護との兼ね合いもあり、手薄になることもある。職員同士で声掛けを行いながら、支援を行っている。専門性に関しては、研修等を通して障害への理解や経験が必要と思われる。 ・長期休み時の職員の人数が子どもたちの人数に対して少ない日がある。 ・職員は余分に配置しています。専門性に関しては継続課題として研修や職員との話し合いを常に行っています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか。	13	0	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	12	1	0	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	12	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の部屋で過ごしてもらう場所を提供しています。その際には必ず職員が同席し、本人の状態を把握しています。
業 務 改 善	6	業務改善を進めるためPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護の利用者さんも来所していることから、放課後等デイサービスへの関心が薄いと感じる。
	7	保護者向けの評価により、保護者等の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・9月にアンケートを配布して、ご意見等を頂いています。アンケート結果を参考にして、次年度の計画を検討しています。 ・月一回の放デイの会議の際に集計をみんなで見、保護者の意見など参考にしながら業務改善を行っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月一回、放デイ担当者の会議を開催しています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価は行っていませんが、評価結果を事業所内や法人内で報告し、改善に努めている。

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	0	・虐待・身体拘束廃止研修、人権研修、感染症研修等、職員(全員)は必ず受講しています。 ・放課後等デイサービスを利用しているのは児童ということもあり、児童向けの研修もして頂きたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	0	・ホームページに提示しています。
	12	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されているか。	13	0	0	・個別支援計画を作成するにあたって、保護者からのアンケートや児童本人からの聞き取りを参考にさせて頂いています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	0	・月一回、担当者の会議を開催しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1	0	・作成時、一覧にして提示している。後期になると、忘れてしまっている傾向もあるため、再確認が必要と思いました。 ・個別支援計画の内容に関しては、放デイ担当職員で共有し、支援を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	0	・一人ひとりの障害特性、合理的配慮の元、支援を行っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定されて、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	1	0	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	0	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	12	1	0	・毎年見直ししております。

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	0	
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	3	0	・長期休暇中は難しいと思いました。 ・主となる職員が不在時には、前もって申し送りをしなければならないと思いました。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	1	1	・支援終了後に集まったの打ち合わせは毎日出来ていませんが、振り返りや気付いた点については職員間で毎日行われており、職員間で共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとる。	13	0	0	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っています。	13	0	0	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	12	1	0	・4つの基本活動とは自立支援と日常生活の充実の為の活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供である。共に日々の活動の中に取り入れている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	2	0	・支援の統一化への理解が乏しいと感じる場面がある。 ・全ての職員が決めるのではなく、活動内容やその場その場で児童の意見を聞いたり、尊重しています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	0	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0	0	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こども下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	1	0	・トラブルなどの際には、相談事業所を通じてやり取りを行っています。 ・支援学校の利用者さんに関しては出来ているが、地域の学校へ通学している利用者さんに関しては十分といえない。 ・学校の情報については、各学校から情報を提供してもらったり、保護者から教えてもらっています。下校時にも申し送りを必ず受けています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園・認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	1	0	・利用が始まる前には必ず担当者会議を行ったか、現場での様子を見学に行ったりしています。

関係機関や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13	0	0	・相談事業所を主に、必ず担当者会議を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	2	0	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	11	2	0	・放課後児童クラブが隣接していることもあり、放課後や夏休み期間と一緒に活動をしたり遊んだりしています。 ・当事業所では放課後児童健全育成事業もっており、同じ敷地内で一緒に過ごしたり、遊んだりすることが多いです。児童館も近くにあり、早帰りの時など活用させてもらっています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	11	2	0	・子ども部会に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	0	・送迎時や電話、連絡ノートを通じてこまめにやりとりをしています。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	3	0	・ペアレントトレーニングまでは、出来ていないが、都度相談に乗って助言するよう努めている。 ・年二回、親子行事を開催しています。他にも、家族懇談会を年1回開催しています。 ・ペアレントトレーニングに関しては、家庭の事情も考慮しながら、相談があればいつでも対応させて頂いています。家族等が参加出来る研修などはあまり提案しておりませんが、機会があればお伝えします。
	36	運営規定、支援プログラム、利用者負担額について丁寧な説明を行っているか。	12	1	0	・契約時に説明させて頂いています。再度知りたい方はいつでも相談を受けています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	0	・保護者にはお手紙でアンケートを取り、児童には直接聞き取りを行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	1	0	・お手紙になりますが、作成した後は案として郵送させて頂いています。承諾を得た後に個別支援計画の作成が終了となります。また年一回、希望者のみですが個別懇談を行い、お話をしています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	0	・いつでも受け付けております。お気軽に相談ください。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年二回親子行事を開催しており、兄弟の参加も可となっています。 ・していますが、ご家族の都合により参加できないご家族もある。さらに気軽に参加できる機会を作れるように検討していく必要がある。 ・父母の会や保護者会等は出来ていませんが、保護者同士や兄弟同士で交流する機会は年に数回、イベントを企画して実施しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速かつ、適切に出来ているか分かりませんが、出来るだけにそのように配慮しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制の情報をおどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月便りを発行し、活動内容等を知らせています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	0	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年二回行事開催しています。(7月夕涼み会、11月虹祭り)
非常時の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族に詳しくは伝えていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	0	
	49	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	1	0	

非常時の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1	0	
	51	こどもの安全確保に関して。家族等との連携を図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等に周知しているか。	12	1	0	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止について検討しているか。	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・どこまでがヒヤリハットが基準の考えがいるのでは？ ・毎月職員会議や担当者会議にてヒヤリハット事例検討、周知を行っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年虐待防止研修、身体拘束廃止研修を全職員必ず受講しています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	0	0	